

## スペイン語学科の展示会に図書館の貴重書が展示されています

現在、本学スペイン語学科が開催している「スペイン・ラテンアメリカウィーク 2014」の催しの一環として「日本・スペイン交流400年記念展示会」が開かれています。この展示会は7月5日（土）から9日（水）にかけてユニバーシティギャラリーでおこなわれているもので、本学図書館からスペイン語で書かれた「ちりめん本」20点をはじめとして、スペイン語訳の日本文学の書物が出展されています。

スペイン・ラテンアメリカウィーク 2014	
2014年6月23日(月)～7月9日(水)	
1	フットサル 6月23日(月) 18:15-20:20 武蔵野体育館
2	ラテンアメリカ文化講座「スペイン」 6月23日(月) 19:30-21:00 401号室
3	ボウリング大会 6月24日(火) 9:00-18:00 体育館
4	スペイン語で読む『浮城物語』 6月24日(火) 13:30-14:00 401号室
5	スペイン語講座「ロドリゴ」 6月25日(水) 12:30-13:30 401号室
6	日本人とスペイン語の歴史 6月25日(水) 13:30-14:00 401号室
7	スペイン語講座「ロドリゴ」 6月25日(水) 18:30-20:30 401号室
8	ラテンアメリカの歴史 7月5日(土) 10:00-11:00 401号室
9	日本・スペイン交流400年記念展示会 7月5日(土) 9:00-18:00 401号室
10	スペイン語講座 7月6日(日) 13:00-18:00 401号室

「スペイン・ラテンアメリカウィーク」より

特に「ちりめん本」は、明治時代に在日欧米人が日本に古くから伝わるおとぎ話や民話などを翻訳して、その粗筋に沿って日本人絵師が挿絵を描いた絵本です。今、忘れ去られてしまった話もスペイン語で著されています。

なお、「ちりめん本」とは材料の和紙を圧縮して表面がちりめん（クレープ）状になっていることからこのように呼ばれています。

## 今後もオリエンテーションとガイダンスを開催します

本学図書館は4月から6月にかけて利用ガイダンスを開催し、多くの学生の皆さんに参加していただきました。このガイダンスには「新入生歓迎ライブラリー・ツアー」をはじめ、「図

書館利用の仕方」や「論文作成支援月間」、さらには「コンピュータによる資料検索」など様々なテーマがあります。

今後行われるものについては、開催日時などの詳細を館内掲示と図書館のホームページでお知らせ致しますので、お誘い合わせの上、ご参加ください。

## 「高校生が知っている世界の有名な書物展 2014」を開催

本学図書館は「高校生が知っている世界の有名な書物展 2014」の第1回目を6月22日（日）に行いました。

今年は「世界の文学」のコーナーにエミール・ゾラの『ナナ』（1880年）を新しく出展し、また「世界の地理・旅行記」のコーナーにチャールズ・ダーウィンの『ビーグル号航海記』（1860年）、「世界の思想」のコーナーにはフリードリヒ・ニーチェの『ツァラトゥストラかく語りき』（1883-1891年）など、さらに「世界平和のために」のコーナーにはイマヌエル・カントの『永遠平和のために』（1795年）を加えました。今年は、これらを含めて洋書34点・和書6点の合計40点を展示しております。（第2回以降も同じ）



展示目録

また、今年度の展示目録の表紙には、本学図書館が写真提供をして高校生までの教科書に使用されているシーボルト著『日本』の中から「絵踏執行」の図を採用しています。